

第1回 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ  
指定管理者候補者選定委員会 議事概要

一 日 時

令和7年11月4日（火） 午後2時～午後4時

二 場 所

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館 カンファレンスルーム

三 出席者

若槻委員（ZOOM）、谷村委員、水野委員、大谷委員、小川委員

四 会議公開の有無

非公開

五 非公開理由

吹田市情報公開条例第28条第2号及び第3号の規定に基づき非公開とします。

六 次 第

1 開会

2 出席者紹介

（1）選定委員会委員の自己紹介

（2）事務局職員の紹介

3 委員長及び副委員長の選任について

委員長に若槻委員、副委員長に谷村委員を選任

4 第三者モニタリング・評価について

（1）第三者モニタリング・評価の方法（案）について

（2）施設の概要及び施設見学

（3）市及び指定管理者によるモニタリング・評価の報告

ア 担当課（市）としてのモニタリング・評価の報告

イ 指定管理者によるモニタリング・評価

ウ 指定管理者候補者選定委員会による第三者モニタリング・評価

（4）その他

## 議事概要

### 【事務局】

ただ今から、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ指定管理者候補者選定委員会を開催いたします。

委員長の選任につきましては、「吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの管理運営に関する規則」第24条により、互選となっています。

～委員長、副委員長選任～

(委員長は ZOOM 参加のため、副委員長にて議事を進行する。)

～質疑応答～

### 【委員】

利用者層では、どの年代が一番多いですか。

それと、この年代に一番力を入れていることはありますか。

### 【指定管理者】

利用者層でいいますと、貸室と交流ロビーや学習エリアによって異なってきます。

交流ロビーや学習エリアには高校生などの青少年世代や、大学生とか、中学生年代の方も、限られた時間ですが、活動されていますが、おおよそ、青少年区分と大人の区分で半々ぐらいです。

もう一つの御質問の、特に力を入れているところですが、大学生の利用について強化できないかと考えています。

### 【委員】

中学生と高校生とでは、どちらが多いのでしょうか。

### 【指定管理者】

中学生ですと、学校が終わってからの時間になり、この館のルールとして、小中学生は午後6時までの利用制限があることから、高校生の利用が多いです。

### 【委員】

ここの施設を吹田の皆さんに認知してもらうのに、インスタグラムなど、どのような手法をとっていますか。

### 【指定管理者】

インスタグラムは今年から始めたばかりですので、まだ多くの方に認知していただいているとはいいがたいです。実感としては、口コミが大きいのではないかと思います。

### 【委員】

多目的ホールの利用目的は何ですか。

**【指定管理者】**

多目的ホールは、多用途で使っていただける施設である一方、専門的には物足りないかもしれません。ただ、もともとこの施設自体がそういった施設ではないかなと思っています。

**【委員】**

利用者からサービスを求められて困ったこととかないですか。

**【指定管理者】**

サービスなので、より良くとは思いますが、実際にできる、できないはあります。

しかし、できないですというだけでは仕方ないので、利用者との関係性を築いて、距離感を縮めていくように心がけています。

**【委員】**

市の施設ですので、広く市民に発信とか、啓発とかが大事じゃないかなと思います。

スタッフの方々のこれまで蓄えてこられた知見とかノウハウとかも含めて、市民を啓発するという役割も大きいのかなと思いますので、もっと積極的に呼びかけていただけるといいのかなと思います。

**【指定管理者】**

貴重な御意見ありがとうございます。

**【委員】**

指定管理者の事業について、例えば吃音カフェとか、啓発するようなものはインスタグラムなどにアップしないのですか。

**【指定管理者】**

ありがとうございます。

私どもはサポートプラザ以外にも管理運営させていただいている施設がたくさんあって、そこでやってる事業などもあるのですが、委員御指摘の取組についても紹介する場として活用していきたいと思います。

**【委員】**

行政と一緒に事業を行うと一度きりになってしまうことがよくあるので、そこから先になにか広げようという気があれば、それを発信して、こういうことができると思うのですが。

**【指定管理者】**

私たちの方でも、継続してアプローチし続けるというのは心掛けています。

継続して何かを続けようと思うと、ファーストステップがどうしても軽微なものでなければというのがあります。そして、事業報告という形で検証してきました。

高校生に対してアプローチできる施設の強みを生かして、高校生スタッフにも振り返りを必ずやっています。

実施したら、終わりですではなく、次に繋がるよう、振り返りの場を設けながら次の課題を実践しながら、継続していくような仕掛けも行っています。

**【委員】**

ここに青少年の拠点施設があって、いろいろな子供たちが来てくれて、その場で終わりではなく、また別のことを体験できるとか、何か支援も受けながら、いろんなことに参加するとか、あれ大事だったねとかの一言でまた次に繋がっていくのが大事です。ここに拠点があることで、最大限に生かしていただきたいと思います。

**【委員】**

お年寄りが携帯の使い方を教えて欲しいとかの依頼はないのですか。

**【指定管理者】**

シニア世代と繋がりたいという学生団体の子とコラボしながら、携帯の使い方を、より気軽に聞ける取組で、学生団体の方たちと一緒にやっています。

参加された方に聞くと、家族に聞くと怒られるんですが、知らない他人だったら、お互いに優しく繋がっていくこともあるそうです。

**【委員】**

財務諸表の分析につきまして、補足します。基本的にはすごく安全で、イメージとしては手持ちの現金が借金の2倍ぐらいあり、全部払えるぐらいです。

気になったのが去年と今年とを比べると、人件費が事業報告と計画書とでは下がっていて、その代わり通信費が上がっているのが、人件費を下げて何かしらIT的なことをしたのかなと勝手に想像したのですが。ただし、経営的には全く問題ないのかなと思います。

**【副委員長】**

ありがとうございます。では以上をもって、本日の選定委員会は終了とします。

委員各位におかれましては、長時間にわたり議事進行に御協力をいただきまして、ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。